



A西原あけみ Activity report

(所属党派・自民改革会議)

アクティビティ レポート



静岡県議会議員となって 決意新たに!

本年4月、静岡県議会議員に当選させていただき、県議会議員西原あけみとして決意も新たにスタートいたしました。地域の皆様、一人ひとりと向き合い「安心して住めるまち・住みやすいまち藤枝」を第一に、市だけでは解決できない皆様の抱える地域の問題、要望に対し、地元市議会議員や国会議員と連携し、迅速に課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。住んでいる地域が良くなる、ひいては静岡県全体の発展につながると信じて、県政の場において真剣にしっかりと取り組んでまいります。また、この度の県政報告を発行するにあたり、県の取り組みについて、県議会議員の役割、仕事についてを、私なりにわかりやすく、見えやすくお伝えしていきたいと思っております。

静岡県議会常任委員会

厚生委員会に所属いたしました



7月1日の県議会厚生委員会にて、県側に質問を行い、答弁を受けました。(その一部をご紹介します)

質問 近年増加している認知症高齢者は、市町の境を超えて徘徊する事が日常的にあり、その場合にはご本人を命の危険にさらし、家族にとっても常に心理的負担になっています。県として、認知症高齢者に対する広域的な取り組みが必要ではないでしょうか。

県側答弁 行方不明となった、認知症高齢者を早期発見するため、家族で作る団体、県警察、市町自治体と連携し、認知症高齢者の情報共有のしくみ作り着手し、来年度からの運用を目指します。現在すでに、課題を洗い出すため県内の市町自治体に意見を聴取しているところです。そして8月をめどに「認知症の人と家族の会」県支部や県警察、市町自治体の担当者等で構成する検討会を設立し、その仕組みづくりの構築を進めます。

静岡県新聞 令和元年(2019年)7月2日(火曜日)

認知症高齢者の情報共有 県警察と連携、仕組み構築へ

県は1日の県議会で、年度からの運用開始を、本人の命を守るために、行方不明、認知症高齢者を早期発見するため、県警察と連携し、情報共有のしくみ作り着手し、来年度からの運用を目指します。現在すでに、課題を洗い出すため県内の市町自治体に意見を聴取しているところです。そして8月をめどに「認知症の人と家族の会」県支部や県警察、市町自治体の担当者等で構成する検討会を設立し、その仕組みづくりの構築を進めます。

県議会議員の新人研修 伊豆ベロドローム視察

6月17日、初当選県議と、東京オリンピック自転車トラックレースの会場となる「伊豆ベロドローム」を視察いたしました。日本サイクルセンター内にあり、国内で唯一国際自転車競技連合格の木製トラック競技場です。木製のトラックは、走りやすく、東京オリンピックで世界の最高峰の競技が観戦できると思うとワクワクします。



ドーム前の西原県議

カウンボード除幕式

〈東京オリンピック・パラリンピック、カウントダウン開始!〉

7月12日、この日は、藤枝市で事前合宿を行うイタリアライフル射撃チームとともに北村市長を訪問し、その後、市役所ロビーに設置された東京2020オリンピック・パラリンピックへのカウンボードの除幕式に静岡県ライフル協会の副会長として出席いたしました。



県議会、厚生委員会 県内の6施設を視察

7月23日24日の2日間・県立がんセンター・函南東部農業協同組合・函南町社会福祉協議会・県立看護専門学校・長泉町こども交流センター「パルながいずみ」・NPO法人WAC清水さわやかサービスを視察。

■県立がんセンター視察

2013年、アメリカの人気女優アンジェリーナジョリーが乳がんリスク87%とした「遺伝子検査」の結果、健康な乳房を切除。遺伝子を検査すれば「病気のリスク」を先読みできる。そんな世界の期待が高まる2014年1月、県立がんセンターでスタートしたのが「プロジェクトHOPE」。県立でありながら、世界的にも珍しいその取り組みの現場を視察し、これからの新しいがん診断や治療の研究開発につながることに期待した。



がんセンター総長 山口建氏と県議会厚生委員